

5月 13日

わだおかつ子

第2号

重点目標「一歩ふみだす子」

「入れ物がない両手で受ける」地域と共に歩めることに感謝

「掛川市吉岡にある和田岡小5年生の27人が14日、学校近くの水田で田植え体験をした。約40年続く伝統行事で、児童はひざ近くまで水につかりながら歓声を上げていた。和田岡地区はコメ作りが盛んで、茶の作業が忙しくなる前に終える田植えは、県内でも早い地域で知られる。地元の「米作り体験学習保存会」が指導し、JA掛川市が協力。苗を手に見童は、あらかじめ決められた間隔に従って2～3本ずつ土の中に植えていった。自身も小学生時代に体験したという保存会の桑原聡史会長は『コメを作る楽しさや食べ物の大切さを知り、後継者に育って欲しい。できるだけ長く続けたい』と話していた。」

4月18日にWeb版「朝日新聞デジタル」に掲載された記事です。このあと5年生は6月の社会科の授業で「米作りのさかんな地域」を学習します。その際に実際の田植えを体験した本校児童の学びが、より深く確かなものになるだろうことは想像に難しくありません。そして、なにより私は、記事から和田岡小5年生のコメ作り体験が約40年続く伝統行事だということを知り、感銘を受けました。田植え体験だけではありません。6年生ではじゃがいもの栽培。3年生ではレンコンの植え付け。年度初めのわずかな期間だけでもたくさんの地域の方に授業のご支援をいただいたり、交通安全運動で子どもたちを見守っていただいたりしました。私たちは、そうした地域の皆さんの子どもたちに向けられた無償の愛に支えられているからこそ、充実した教育活動を展開できているのだと改めて実感しています。

旅の俳人尾崎放哉が残した句にこんな句があります。「入れ物がない 両手で受ける」17音に満たない短い句です。昔、曾祖母が亡くなった時に和尚様がこの俳句に込められた思いをこんなふうに説明してくださいました。「親が子に向ける愛情はとてつもなく大きいもので、どんな器でもすべてを受け止めることはできない。それならば、せめて自らの両手でまごころを込めて受け止めなさい」と、そんな思いが込められているそうです。大きな施しを受け、感謝の気持ちを抱くとき、私はいつもこの俳句を思い出します。「入れ物がない 両手で受ける」地域の皆様の小学校への期待や願いを、まごころを込めた両手でしっかりと受け止め、和田岡地区の素晴らしい未来の担い手を育成していきますので、今後もご支援をよろしくお願いします。

校長 梅葉 紳介



～地域に飛びだす学習～

今年度も地域の皆様にご協力いただき、学びを深めています。
ありがとうございます。



5年生 田植え

～友達と楽しく学習～

グループで熱心に話し合ったり、仲良くたてわりで遊んだりして毎日が充実しています。



グループ学習



3年生 レンコン植付



たてわり顔合わせ



2年 野菜を育てよう

このような日々の学校生活の様子を「eじゃん掛川」で毎日紹介しています。『eじゃん掛川 和田岡小』と検索していただくか、右にあるQRコードを読み取って見ていただくことができます。子どもたちの学びを是非、ご覧ください。



<5月の予定>

日	曜	予 定
14	土	PTA奉仕作業(吉岡団地・つくし野・各和)
15	日	奉仕作業予備日
16	月	PTA朝のあいさつ運動
19	木	歯科検診 検尿 スクールカウンセラー勤務日
24	火	移動図書館
25	水	内科検診
26	木	心音心電図・生活習慣病検査(1・4年)
28	土	スポーツフェスティバル 弁当持参 
29	日	スポーツフェスティバル予備日
30	月	休業日
31	火	ステージ式 

<6月の主な予定>

1日(水) 読み聞かせ
2日(木) リサイクル活動開始(～12日)
3日(金) 学校運営協議会
6日(月) プール清掃(4～6年)
8日(水) 特別日課12:00下校
10日(金) 耳鼻科検診
13日(月) クラブ
14日(火) 体カテスト
15日(水) PTA朝のあいさつ運動
20日(月) クラブ
21日(火) 移動図書館
22日(水) 民生委員と語る会
23日(木) スクールカウンセラー勤務日
27日(月) 委員会活動
30日(木) 交通安全リーダーと語る会